

令和2年6月9日

議 員 各 位

総務文教常任委員会

委員長 河 野 龍 二

委 員 長 報 告 書

総務文教常任委員会に付託された議案等の審査結果について、会議規則第41条の規定により報告いたします。

1.審査期間：令和2年6月4日

2.付託された議案等

議案番号	件 名	結 果
41	令和2年度長与町一般会計補正予算（第3号）	全会一致 可 決

## 総務文教常任委員会報告

出席委員 河野 龍二 金子 恵 八木 亮三 西田 健 浦川 圭一 内村 博法 安藤 克彦 西岡 克之 説明員 関係所管管理職並びに職員
---

### 議案第 41 号 令和 2 年度長与町一般会計補正予算(第 3 号)

#### 【提案理由・主な内容】

歳入歳出それぞれ 946,695 千円を増額し、総額を 18,636,508 千円に。

第 2 表地方債補正では変更が 1 件、追加が 2 件。

尚、所管ごとに詳細な説明を受けた。

#### 【主な質疑】

##### 総務部・契約管財課

質 疑：新型コロナウイルス対策で回線使用料が必要なのか。

答 弁：VPN（仮想専用線）拠点を 1 か所増やす初期費用で、新型コロナウイルスで庁舎が閉鎖されたときに、外部から町のサーバーを利用する事ができるようにするため。

質 疑：外部の施設はどこか。

答 弁：南交流センターを考えている。

##### 総務部・地域安全課

質 疑：防災対策費のマスク等の数量は。

答 弁：マスクで約 8,700 枚。消毒液は 60 本。

質 疑：保管期限はどう考えているか。

答 弁：マスクは密封で保管し 1 年以上と考えている。

##### 企画財政部・政策企画課

質 疑：長与町公共交通緊急対策支援補助金の内容は。

答 弁：町内に本社を置くタクシー会社及び、個人タクシー事業者、福祉タクシー事業者に対し、1 台 1 万円の支援を行う。

質 疑：子育て世帯移住支援補助金は何世帯分か。

答 弁：4 世帯分を計上している。

質 疑：これまであった移住支援補助金との違いは何か。

答 弁：当初予算は東京圏からの移住に対してだったが、今回は東京圏以外からの移住に対し支援補助を行う。

##### 住民福祉部・こども政策課

質 疑：丸田荘での消耗品費にアルコール購入との説明だったが、母子衛生費の医薬材料費にもアルコール購入と説明された。違いは何か。

答 弁：医薬材料費で購入する物は人体に使用しアルコール濃度が高く、消耗品費で購入する物は物を拭くときに使用しアルコール濃度は低くなっている。

##### 健康保険部・健康保険課

質 疑：次亜塩素酸水の殺菌効果が問題になっているが、購入の予定はあるのか。

答 弁：次亜塩素酸ナトリウムを使用しているので、次亜塩素酸水の購入の予定はない。

建設産業部・産業振興課

質 疑：事業継続支援金を受ける場合、国の持続化給付金を受けたかどうかの確認はどうするのか。

答 弁：申請書に「国に照会することに同意する」という欄を設けている。また、国の方に確認するための名寄せができないか協議をしている。まずは、正直に答えていただいているということを一に考えて進めていく。

質 疑：持続化給付金との併用の検討はなかったのか。

答 弁：長崎市、時津町の支援内容に合わせた。

質 疑：プレミアム商品券の購入方法は。

答 弁：全世帯に申込書を送付し、西そのぎ商工会長と支所に添付のハガキで購入希望を返信。代金引換で配送業者から商品券を受け取るようにしたい。

質 疑：詐欺に対する対応は。

答 弁：申込書に注意喚起の文書を同封し、代金引換の時にも確認を確実にしてもらう。

質 疑：3万円で町の負担4割より、6万円で町の負担が2割の方が、購買力が上がるのではないのか。

答 弁：昨年の実績や商工会長と支所と協議の結果3万円となった。

質 疑：時津町と比較すると規模が小さいと思うがどうか。

質 疑：新型コロナウイルスの第2波、第3波が予測され、今後も支援が必要と思うので3万円とした。

質 疑：商品券の対象世帯は。

答 弁：全世帯分17,000世帯。

質 疑：商品券が残ったらどうするのか。

答 弁：第2弾として販売したい。

質 疑：残った分の販売は混乱を招くのではないのか。

答 弁：商工会と相談して混乱を招かないように対応したい。

質 疑：商品券の販売受付の時期は

答 弁：申込書を6月下旬から送付し、7月初旬より商品券の発送を開始したい。

質 疑：使用期間は。

答 弁：7月中旬から令和3年1月中旬までとしたい。

質 疑：時津町の商品券は大型店の使用が制限されているが、長与町も制限するのか。

答 弁：大型店でも小型店でも使えるものが6割、小型店のみで使えるものが4割の制限を考えている。

質 疑：商品券の換金は早めでないと、事業の継続支援にならない。どう考えているか。

答 弁：これまでは月2回の振込を行っていた、早めにはできないか商工会と協議したい。

質 疑：事業継続支援金の申請期間は。

答 弁：6月15日から受付を開始し10月30日まで受け付ける予定。

建設産業部・土木管理課

質 疑：定林橋の設計委託料の総額はいくらか。

答 弁：総額で2,500万円。

質 疑：12月補正も計上され今回補正に上げるなら、当初予算で上げるべきではないか。

答 弁：予備設計がコロナの関係で5月から7月に延びた。詳細設計は今月末か7月上旬には上がる予定になっている。

質 疑：12月補正でなぜ発注できなかったのか。

答 弁：県との協議に時間が掛かったため。

教育委員会・教育総務課

質 疑：全国一斉に小・中学校1人1台の端末機の購入となれば不足するのではないか。

答 弁：端末の調達の工期を長くするなどして、早い時期に購入するよう努力する。

質 疑：どの様な入札方法になるのか。

答 弁：協議中であるが、タブレット販売業者を選定している段階である。

質 疑：国からの機種、ストレージ（記憶装置）の指定があるのか。

答 弁：国の標準仕様があり、ストレージは32ギガバイト以上となっている。

質 疑：共同調達の考えは。

答 弁：国が県内分を共同調達予定だが、本町はOS（動作管理プログラム）が違うため、共同購入はできなかった。

教育委員会・生涯学習課

質 疑：長与三彩窯跡用地土地鑑定は、今後調査が進むと考えると良いのか。

答 弁：地権者が引越を希望しており、用地を購入して発掘調査をする予定である。

以上のような質疑が行われ全会一致で可決すべきと決した。